

We ♥ リサイクル

第 5 号

2006年12月28日
 (社) 東京都リサイクル事業協会
 広報委員会

111-0055 東京都台東区三筋 2-3-9-701
 TEL:03-5833-1030 FAX:03-5833-1040



平成18年を振り返り、リサイクル業界から見た10大ニュースを挙げてみました。詳しくは次ページでご紹介しています。

1 東リ協会「社団法人」となる

2 都から区への清掃及びリサイクル事業完全移管

3 再生資源全般の高騰

4 資源「抜き取り」なくならず

5 期待はずれの容器包装リサイクル法改正

6 リターナブルびんの減少傾向と新たな動き出る

7 回収事業者認定制度(日資連) 拡がる

8 製紙メーカーの統合・再編進む

9 4区で家庭系廃プラのサーマルリサイクルモデル収集スタート

10 駐車禁止規制強化

リサイクルフォーラム「古紙 - 大量リサイクル時代の課題と展望」開催予告

～パネルディスカッション「リサイクルの疑問、ズバリ解決!」～

古紙の大量リサイクル時代を迎え、グローバル化したマーケットの現状を踏まえ、持続可能なリサイクルの未来像を探ります。同時にリユースびんの回収実験などの最新情報を提供する他、リサイクル実務業者がリサイクルの疑問に応えます。

■日時：平成19年2月3日(土) 午後1時～4時

■会場：明星大学日野校 26号館 (東京・日野市程久保 2-1-1)

■参加費：1,000円 懇親会費2,500円 ■定員：60名(先着)

■参加方法：下記事項をご記入のうえFAXにてお送りください。

FAX確認後、受付票を送付します。**2007年1月23日(火)必着。**

■申込記入内容：①氏名②住所③電話・FAX④所属(学校・勤務先等)

■申込先：FAX:03-5833-1040

■お問合せ：TEL:03-5833-1030 東リ協会 事務局担当後藤まで

■同時開催：第14回TAMAとことん討論会「循環型社会をつくる多摩パワーPart2」午前10時～5時までの予定
 (NPO法人東京・多摩リサイクル市民連邦 <http://www.renpou.org/>)

<(社)東リ協会の本フォーラムはとことん討論会の第6分科会として実施します>

リサイクル業界 平成18年 10大ニュース

1 東リ協会「社団法人」となる

主要再生資源を扱うリサイクル実務業界が一同に会して新たに公益活動をスタートしました。

持続する資源リサイクル社会の窓口として都民の皆さんのご活用をお待ちしています。

2 都から区への清掃及びリサイクル事業完全移管

都から区への清掃・リサイクル事業が完全に移管されました。これまで以上に各区の独自色を打ち出した施策が展開されていくことになるでしょう。東リ協会は実務者サイドの団体として協力してまいります。

3 再生資源全般の高騰

再生資源価値が全般的に上がっています。

背景には中国での旺盛な需要増に伴う資源不足や原油価格の上昇に連動したものと考えられます。

これまでごみだった廃プラも有価で流通するようになってきました。

4 資源「抜き取り」なくならず

行政による資源分別回収をターゲットにした抜き取り行為は、一部の区市の抜き取り防止施策やパトロールなどを展開するも、好調な資源価格に後押しされいまだ続いています。東リ協会では社会規範に関わる重要な問題と考えています。

5 期待はずれの容器包装リサイクル法改正

リデュース・リユース・リサイクルの優先順位を考慮した改正に近づくことを期待しましたが、またもリユースには手が届かず。誰もが認める環境優等生のリターナブルびんをなぜ放置するのでしょうか？

6 リターナブルびんの減少傾向と新たな動き出る

今や絶滅危惧種ともいわれるようになったリターナブルびん。他の容器におされ流通量は減り続けています。

他方、リユースびんとして復活させようと各地域での実験もスタートしました。是非軌道にのせたいものです。

7 回収事業者認定制度（日資連） 拡がる

再資源化ルートを明らかにする、いわば「再生資源のトレーサビリティ」制度。「リサイクル化証明書」とともに確実に広がっています。

8 製紙メーカーの統合・再編進む

グローバル経済に対応するため、製紙業界では統合再編が進められました。

9 4区で家庭系廃プラのサーマル リサイクルモデル収集スタート

不燃ごみとして最終処分場を圧迫し続けてきた廃プラスチックを燃やしてエネルギー回収する事業がスタートしました。（4区：品川、大田、足立、杉並）

10 駐車禁止規制強化

回収作業あつての資源リサイクル。作業効率化への影響が懸念されます。

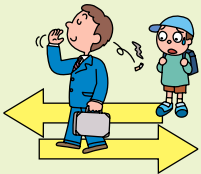
～1年を振り返って～

平成18年。スポーツ界ではトリノ五輪に始まり、野球・サッカー・・・など様々な国際大会で賑わった年でした。再生資源業界でも、多くの品目で輸出量が伸び、再生資源のグローバル化を意識した年でした。

一方、23区の場合、都から区への清掃・リサイクル事業が完全に移管されました。地域に根ざしたリサイクルが実施される他、廃プラなど新たな品目に着手するなど、大量リサイクル時代の幕開けを感じさせる出来事が多々ありました。

こうした状況の中で、東リ協会が発足しました。持続可能な循環型社会をつくためには、リサイクルに関する確かな情報提供やコーディネートが必要となります。発足したばかりの東リ協会に与えられた来年の課題は、このあたりにあるといえるでしょう。

× 中村正子のエコ点描 ×



左側通行とリサイクル

今、私がとても気になっているのが「左側通行」である。自転車に乗ることもあるが、ほとんど歩き専門の私は、最近とみに対面通行者とぶつかることが多い。

もより駅の東横線・学芸大学駅まで一車線がやつの商店街を約4分歩く。私には幼い頃からの右側通行がしみこんでいるので、駅に向けて自然に右側を歩くと、なんと、こちらに向かって歩いて来る人々の流れとぶつかってしまう。そう、駅からこちらに向けて歩いて来る多くの人々は、左側を歩いて来る。

人通りの多い午前8時台には、多勢に無勢で右側通行を徹底することは困難になる。左側通行者があまりにも多いと、少数の右側通行者の方が間違っているかのような思いにさせられるのが、なんとも悔しい。

そうしてみると、ほかの道路でも左側を歩く人がとても多いことに気づく。私も駅などの「左側通行」の指示には従うが、もともと「人は右、車は左」のはずだ。警視庁・交通課に問い合わせたら、車道・歩道が分かれていない道ではこのルールが基本だが、「全般的にルールを守らないおとなが本当に多い」と担当者は慨嘆した。

交通ルールが大事なものは、時に命にかかわることがあるからだ。子どもたちは今も「人は右側通行」と習っているのに、子どもを混乱させるにちがいないおとなたちのこの現状を、嘆くだけでいいのだろうか。

「リサイクル」で不可欠なのは、きちんと分別することだ。前述したように、ルールや常識が崩れやすい現代社会で、分別することの必要性を常にアピールすることの大事さを改めて思った。



中村正子（当会理事）

川口紙工機械 株式会社

代表取締役会長 横田文夫
代表取締役社長 横田友博

<http://www.k-sikou.co.jp/>
E-mail : baler@k-sikou.co.jp

46年の実績を誇る川口紙工の圧縮梱包機。

小型(5HP)～大型機械(250HP)まで、古紙一般、
廃プラスチック等ベラーの事ならお任せ下さい。



TEL : 048-252-3448

FAX : 048-252-3452

〒332-0023 埼玉県川口市飯塚1丁目4番36号



渡辺鉄工 株式会社

代表取締役 渡辺雅之

東京営業所 〒343-0003 埼玉県越谷市船渡145

TEL : 048-979-1401 Fax : 048-979-1440

E-mail: tokyo@wtnbe-te.co.jp

坂野興業 株式会社

代表取締役 坂野富雄

[番線屋]

〒152-0022 目黒区柿の木坂1-2-7

TEL : 03-3718-7311 Fax : 03-3724-8170

E-mail: eigyos@sakano-kogyo.co.jp



株式会社 富澤

代表取締役社長 瀧本義継

[古紙問屋]

〒332-0011 埼玉県川口市元郷3-21-31

TEL : 048-225-4301 Fax : 048-226-2044

<http://www.tomisawa.co.jp/>



三弘紙業 株式会社

代表取締役会長 上田雄健

[古紙問屋]

〒113-0033 文京区本郷1-30-17

TEL : 03-3816-1171 Fax : 03-3811-1575

<http://www.sankopaper.co.jp/>



飲料容器のリサイクル

合資会社 戸部商事

代表社員 戸部 昇

〒121-0836 足立区入谷8-10-29

TEL : 03-3897-1156 Fax : 03-3853-1619

<http://www.tobeshoji.co.jp/>

E-mail: customer@tobeshoji.co.jp

株式会社 六甲

取締役社長 今井一夫

[リユースびん・新びん問屋]

〒104-0033 中央区新川1-3-7 六甲第2ビル

TEL : 03-3552-6551 Fax : 03-3552-6556



株式会社 小池商店

代表取締役 小池茂男

[古紙問屋]

〒183-0035 府中市四谷6-56

TEL : 042-363-2596 Fax : 042-363-2597

<http://www.koike-eco.co.jp/>

E-mail: info@koike-eco.co.jp



日高工業 株式会社

代表取締役 高橋 健

[廃棄物処理業]

〒102-0072 千代田区飯田橋2-12-1

TEL : 03-3261-9731 Fax : 03-3263-1066

<http://www.e-nikko.co.jp/>

E-mail: info@e-nikko.co.jp